

第3章 重点プロジェクトの評価

第二次環境基本計画では、望ましい将来像「未来の子どもたちへ引き継ぐ こくぶんじの豊かな環境」を実現するため、市民ワークショップによる提案、環境推進管理委員会の提言をもとに、自然環境、生活環境、都市環境、地球環境及び環境教育・環境学習の5分野から分野横断的に相乗効果を発揮するような重要性の高い施策により構成する、9つの重点プロジェクトを設定しています。

この重点プロジェクトごとに、環境推進管理委員会において、令和6年度の環境施策・取組の進捗状況について確認を行うとともに後期実施計画の計画期間が令和6年度をもって満了したため、計画の達成状況について評価を行いました。

【重点プロジェクトと施策の評価基準】

重点プロジェクト評価基準	
達成	重点プロジェクトを構成する施策の評価の割合について、 達成・おおむね達成の割合の合計が100%、かつ、達成の割合が50%以上
おおむね達成	重点プロジェクトを構成する施策の評価の割合について、 達成・おおむね達成の割合の合計が100%、かつ、達成の割合が50%未満 又は 達成・おおむね達成の割合の合計が80%以上100%未満
未達成	重点プロジェクトを構成する施策の評価の割合について、 達成・おおむね達成の割合の合計が80%未満

施策の評価基準	
達成	施策を構成する取組の進捗状況の割合について、 順調・おおむね順調の割合の合計が100%、かつ、達成の割合が50%以上
おおむね達成	施策を構成する取組の進捗状況の割合について、 順調・おおむね順調の割合の合計が100%、かつ、順調の割合が50%以上 又は 順調・おおむね順調の割合の合計が80%以上100%未満
未達成	重点プロジェクトを構成する施策の評価の割合について、 順調・おおむね順調の割合の合計が80%未満

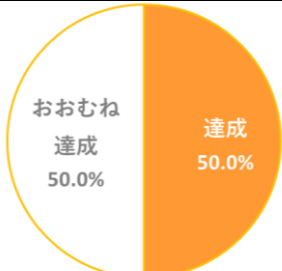
【重点プロジェクトの評価一覧】

重点プロジェクト① 在来生物の種や生態系などの生物多様性の保全に向けた取組の推進		環境推進管理委員会による 総合評価	評価（施策）の構成割合
達成		達成	達成 80% おおむね達成 20%
評価		評価	
自然環境	1 拠点となる緑や水辺の保全・整備	達成	
	5 協働による維持管理	達成	
	12 都市農地の保全・活用	達成	
	15 生き物の実態調査の実施	達成	
	18 生物多様性に対する理解促進	おおむね達成	

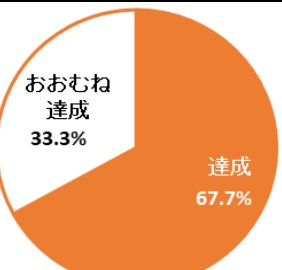
重点プロジェクト② 地産地消の推進による都市農業の支援		環境推進管理委員会による 総合評価	評価（施策）の構成割合
未達成		未達成	達成 33.3% 未達成 33.3% おおむね達成 33.3%
評価		評価	
自然環境	再 12 都市農地の保全・活用	達成	
	14 地産地消の推進	未達成	
環境教育・ 環境学習	45 地域資源を活用した体験型学習の 推進	おおむね達成	

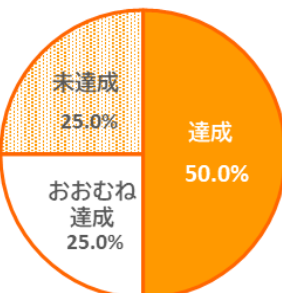
重点プロジェクト③ 野川、用水路及び湧水などの地域資源の保全・活用		環境推進管理委員会による 総合評価	評価（施策）の構成割合
未達成		未達成	達成 25% 未達成 25% おおむね達成 50%
評価		評価	
自然環境	8 湧水・地下水の保全・活用	達成	
	9 用水路の保全・活用	おおむね達成	
	10 野川整備事業の促進	未達成	
環境教育・ 環境学習	再 45 地域資源を活用した体験型学習の 推進	おおむね達成	

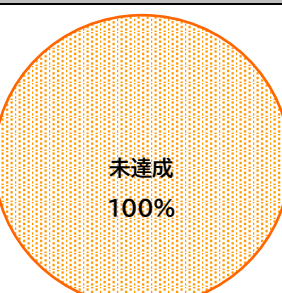
重点プロジェクト④ 安全・安心な暮らしの確保に向けた調査と情報提供		環境推進管理委員会による 総合評価	評価（施策）の構成割合
達成		達成	達成 66.7% おおむね達成 33.3%
評価		評価	
生活環境	23 大気や水質などの測定	達成	
	24 空間放射線量などの測定	達成	
	25 化学物質に関する情報の収集・提供	おおむね達成	
	29 給食食品などの放射性物質濃度の測定	評価なし	

重点プロジェクト⑤ 自転車・公共交通機関の利用促進		環境推進管理委員会による 総合評価	評価（施策）の構成割合
構成する施策		達成	
都市環境		達成	
地球環境		おおむね達成	

重点プロジェクト⑥ 歴史的景観や文化財の保全・活用		環境推進管理委員会による 総合評価	評価（施策）の構成割合
構成する施策		達成	
自然環境		達成	
都市環境		達成	

重点プロジェクト⑦ 資源循環型のまちづくりの推進		環境推進管理委員会による 総合評価	評価（施策）の構成割合
構成する施策		達成	
地球環境	42 ごみの減量化・資源化の推進	達成	
	43 ごみの減量や分別などの普及啓発	達成	
環境教育・環境学習		おおむね達成	

重点プロジェクト⑧ 環境負荷の少ないライフスタイルの促進		環境推進管理委員会による 総合評価	評価（施策）の構成割合
構成する施策		未達成	
地球環境	39 省エネルギー・省資源行動の促進	達成	
	40 再生可能エネルギーの導入・創エネルギーの推進	達成	
環境教育・環境学習	再 44 多様な主体による環境教育・環境学習の推進	おおむね達成	
	46 環境学習に関する情報提供、学習教材づくり	未達成	

重点プロジェクト⑨ 環境面における参加と協働による地域の活性化の推進		環境推進管理委員会による 総合評価	評価（施策）の構成割合
構成する施策		未達成	
環境教育・環境学習	48 環境教育・環境学習の機会の促進	未達成	
	49 地域リーダーの育成、ネットワーク化の支援	未達成	

重点プロジェクト①	
在来生物の種や生態系などの生物多様性の保全に向けた取組の推進	
環境推進管理委員会による総合評価	達成

(1) 背景・目的

国分寺市の地形的特徴である「国分寺崖線」を中心とした崖線緑地、樹林地、都市農地や屋敷林、お鷹の道・真姿の池湧水群、野川及び姿見の池などの国分寺の緑と水は、多様な動植物の生息域であると同時に、市民と自然との関係をつなぎ直してくれるかけがえのない存在です。都市化の進展にともなって寸断化が進んでいる、これらの緑地や水辺を有機的に連続させて緑と水のネットワーク化を進め、そこに息づいている生き物たちとの共存共生を図っていきます。

(2) 取組内容

- 協働による動植物調査の実施により現状を把握します。
- 生き物にふれあう機会を増やすとともに、在来生物の種や生態系などの保全に向けて市内の農地や国分寺崖線などの緑の保全に取り組んでいきます。

(3) 重点プロジェクトを構成する主な施策と取組状況

主な施策			取組		
分野	施策名	評価	取組名	進捗状況	担当課
自然環境	1 拠点となる緑や水辺の保全・整備	達成	(1) 真姿の池湧水群の保全・維持管理	順調	ふるさと文化財課
			(2) 国分寺崖線の保全	順調	まちづくり推進課
				順調	緑と公園課
			(3) 湧水及び地下水の保全・活用	順調	緑と公園課
			(4) エックス山等市民協議会との協働による緑地保全	順調	緑と公園課
			(5) 市民団体との協働による緑地や用水路の維持管理	順調	緑と公園課
			(6) 緑のネットワークの創造	おおむね順調	まちづくり計画課
	5 協働による維持管理	達成	(再4) エックス山等市民協議会との協働による緑地保全	順調	緑と公園課
			(12) 近隣住民による公園の維持管理	おおむね順調	緑と公園課
	12 都市農地の保全・活用	達成	(22) 生産緑地の追加指定	おおむね順調	まちづくり計画課
			(23) 農業体験農園の支援	順調	経済課
			(24) 市民農業大学	順調	経済課
			(25) 農ウオーク	順調	経済課
			(26) 市内農園などにおける野菜収穫による農とのふれあい活動	順調	保育幼稚園課
	15 生き物の実態調査の実施	達成	(32) 動植物調査	順調	環境経営課
	18 生物多様性に対する理解促進	おおむね達成	(34) 観察会などの開催による生物多様性に関する情報提供	順調	環境経営課
				おおむね順調	緑と公園課
			(35) 全庁的な取組の実施	おおむね順調	環境経営課

* 各取組の進捗状況の詳細については第4章（32ページ～146ページ）をご覧ください。（以下同じ。）

重点プロジェクト②	
地産地消の推進による都市農業の支援	
環境推進管理委員会による総合評価	未達成

(1) 背景・目的

農地は、新鮮で安全な野菜の供給基地であるばかりではなく、生き物の生息空間、雨水の保水、地下水の涵養、景観の形成、災害時の避難場所など、様々な機能を有しており、地域の貴重な緑となっています。

しかし、近年は、宅地化によって農地の分断・減少が進んでいます。昭和59年に256haあった農地は約4割が失われ、平成24年には、159.5haとなっています。減少傾向の農地を守るためには、市内産農産物の利用を促進し、営農が続けられる状況を保つことが必要です。そのためには、市内産農産物の流通を促進し、農業に対する理解と関心を高めることが欠かせません。

このため、農地を担う都市農業を支援し、環境への負荷の少ない国分寺ならではの豊かな食生活の普及、農への参加を通じたふれあい・交流を広げます。

(2) 取組内容

- 農業体験などを通じて都市農業への理解を促進します。
- 給食食材への市内産農産物の活用やイベント・直売所での販売などを通じた地産地消の推進、農畜産物及び農畜産物の加工品の国分寺ブランドの創出・育成を推進します。

(3) 重点プロジェクトを構成する主な施策と取組状況

主な施策			取組		
分野	施策名	評価	取組名	進捗状況	担当課
自然環境	再12 都市農地の保全・活用	達成	(再22) 生産緑地の追加指定	おおむね順調	まちづくり計画課
			(再23) 農業体験農園の支援	順調	経済課
			(再24) 市民農業大学	順調	経済課
			(再25) 農ウォーク	順調	経済課
			(再26) 市内農園などにおける野菜収穫による農とのふれあい活動	順調	保育幼稚園課
	14 地産地消の推進	未達成	(28) 給食への市内産農産物の活用	停滞ぎみ	学務課
			(29) 地場産農畜産物を活かした食の普及	順調	経済課
			(30) 販売網の強化の支援	おおむね順調	経済課
			(31) 飲食店等における地場野菜等の活用促進	順調	経済課
環境教育・環境学習	45 地域資源を活用した体験型学習の推進	おおむね達成	(再23) 農業体験農園の支援	順調	経済課
			(再24) 市民農業大学	順調	経済課
			(再25) 農ウォーク	順調	経済課
			(再26) 市内農園などにおける野菜収穫による農とのふれあい活動	順調	保育幼稚園課
			(再34) 観察会などの開催による生物多様性に関する情報提供	順調	環境経営課
				おおむね順調	緑と公園課
			(96) 学童体験農園	停滞ぎみ	学校指導課
			(97) 児童の収穫体験	順調	学校指導課
			(98) エコミュージアム事業の開催	順調	緑と公園課
			(99) 科学教室の開催	順調	学校指導課
			(100) 宇宙の学校の開催	順調	学校指導課

重点プロジェクト③	
野川、用水路及び湧水などの地域資源の保全・活用	
環境推進管理委員会による総合評価	未達成

(1) 背景・目的

現在市内には、名水百選の一つに指定されている「お鷹の道・真姿の池湧水群」などの湧水や、市内の湧水を水源とし多摩川に合流する全長 20km ほどの一級河川である野川、玉川上水からの分水である砂川用水などの水辺があります。

水を取り巻く国分寺の近世の歴史を振り返ると、国分寺村分水（恋ヶ窪用水）をはじめ新田開発とともに整備された野中新田分水、中藤新田分水など用水路網は人々の暮らしに欠かせないものでした。これらの用水路も、昭和 30 年代までは清流の面影をとどめていましたが、昭和 40 年代になると、砂川用水など一部を除き通水を停止、荒廃が進みました。用水路は歴史遺産であり、適切に保存し、活用していくことが大切です。

また、野川は市内唯一の河川ですが、コンクリート三面張りの護岸になっており、生き物が生息しにくい環境であり、親水性に乏しく、景観形成上も良好とはいえない状態です。野川や用水路は、親水化に向けた整備を進める必要があります。

国分寺の自然を特徴づけ、多様な生き物を育み、自然とのふれあいを提供し、歴史・文化を伝えてくれる、いわば地域の資源ともいえる水辺を守り、活用します。

(2) 取組内容

- 野川や用水路及び湧水などの水辺を、自然観察や自然保護活動、郷土学習、観光などの資源として活用、PR します。
- 野川や用水路などの親水性の向上に配慮した保全に取り組みます。

(3) 重点プロジェクトを構成する主な施策と取組状況

主な施策			取組		
分野	施策名	評価	取組名	進捗状況	担当課
自然環境	8 湧水・地下水の保全・活用	達成	(再 1) 真姿の池湧水群の保全・維持管理	順調	ふるさと文化財課
			(再 3) 湧水及び地下水の保全・活用	順調	緑と公園課
	9 用水路の保全・活用	おおむね達成	(17) 用水路の親水化整備などの検討	おおむね順調	緑と公園課
	10 野川整備事業の促進	未達成	(18) 野川整備事業促進の要望・協議	停滞ぎみ	緑と公園課
			(19) 野川流域の自治体との連携	停滞ぎみ	緑と公園課
環境教育・環境学習	再 45 地域資源を活用した体験型学習の推進	おおむね達成	(再 23) 農業体験農園の支援	順調	経済課
			(再 24) 市民農業大学	順調	経済課
			(再 25) 農ウオーク	順調	経済課
			(再 26) 市内農園などにおける野菜収穫による農とのふれあい活動	順調	保育幼稚園課
			(再 34) 観察会などの開催による生物多様性に関する情報提供	順調	環境経営課
				おおむね順調	緑と公園課
			(96) 学童体験農園	停滞ぎみ	学校指導課
			(97) 児童の収穫体験	順調	学校指導課
			(98) エコミュージアム事業の開催	順調	緑と公園課
			(99) 科学教室の開催	順調	学校指導課
			(100) 宇宙の学校の開催	順調	学校指導課

重点プロジェクト④	
安全・安心な暮らしの確保に向けた調査と情報提供	
環境推進管理委員会による総合評価	達成

(1) 背景・目的

東日本大震災以降、安全・安心な暮らしに対する関心が高まり、情報の重要性が改めて認識されています。

市民の安全・安心な暮らしの確保に向けて、大気、水質などの測定、各種調査を実施しています。引き続き、大気などのモニタリングや化学物質対策を進めていく必要があります。

農薬の過度の使用や遺伝子組換え食品、食品添加物、放射性物質など、安全で健康的な食生活への不安が高まっていることから、正確な情報公開・提供を行うなど、食の安全性を確保していく必要があります。

このため、身の回りの多種多様な化学物質、食の安全性、放射性物質などについての適切な情報の収集とわかりやすく提供する仕組みを確立します。

(2) 取組内容

- 大気、水質、ダイオキシン類などの定期的なモニタリング測定、各種調査を実施し、情報提供を行います。
- 市放射能対策に関する基本的な対応方針に基づき、空間放射線量・放射性物質濃度の測定など、継続した調査と情報提供を行います。

(3) 重点プロジェクトを構成する主な施策と取組状況

主な施策			取組		
分野	施策名	評価	取組名	進捗状況	担当課
生活環境	23 大気や水質などの測定	達成	(44) 大気、水質、騒音・振動、ダイオキシン類（大気・土壌）の定期的測定	順調	環境対策課
	24 空間放射線量などの測定	達成	(45) 空間放射線などの定期的測定	測定終了※1	保育幼稚園課・子ども子育て支援課
				順調	環境対策課
				測定終了※1	緑と公園課
				測定終了※1	教育総務課
	25 化学物質に関する情報の収集・提供	おおむね達成	(46) 化学物質に関する情報の収集・提供	おおむね順調	環境対策課
	29 給食食品などの放射性物質濃度の測定	評価なし※2	(53) 給食食品などの放射性物質濃度の測定	—※2	環境経営課

※1 放射能対策委員会により、空間放射線量の測定箇所及び頻度の見直しが行われ、空間放射線量測定の担当課が環境対策課に集約されることとなりました。

※2 令和5年度放射能対策委員会において、令和6年度以降の測定について検討し、測定を休止することを決定しました。そのため令和6年度は実績がないため進捗状況を「—」、評価については「評価なし」としています。

重点プロジェクト⑤	
自転車・公共交通機関の利用促進	
環境推進管理委員会による総合評価	達成

(1) 背景・目的

自転車は、環境負荷の少ない乗り物として、日常的に広い年齢層で利用されています。誰もが安心して、安全に自転車に乗ることができる環境をつくるには、歩行者と自転車が安全に共存できるようにするためのまちづくりや、通行ルールの徹底、放置自転車を減少させるための方策が求められています。

また、自家用車の利用を控え、二酸化炭素の排出の少ない電車やバスなどの公共交通機関を利用することで、交通の流れの円滑化や1人あたりの二酸化炭素（CO₂）をはじめとした温室効果ガスの排出抑制などの効果が期待できます。

このため、自転車や公共交通機関の利用促進に向けた普及啓発をするとともに、自転車が安全・快適に走行できる道路空間を確保します。

(2) 取組内容

- 自転車が安全に走りやすい環境づくりを進めるとともに、自転車の利用促進とルールの啓発に努め、マナーの向上を図ります。
- 地域バスなどの公共交通機関の利用促進に向けた取組を行っていきます。

(3) 重点プロジェクトを構成する主な施策と取組状況

主な施策			取組		
分野	施策名	評価	取組名	進捗状況	担当課
都市環境	31 自転車利用の推進	達成	(37) 環境保全に関するPR	順調	環境経営課
			(56) 自転車利用のルールの周知	順調	交通対策課
地球環境	37 地球温暖化対策の計画的な推進	おおむね達成	(再 37) 環境保全に関するPR	順調	環境経営課
			(73) 庁用車の使用抑制	順調	契約管財課
			(74) 地球温暖化防止行動計画（市役所版）の推進	停滞ぎみ	環境経営課
			(75) グリーン購入の推進	順調	環境経営課
			(76) 公共施設における再生可能エネルギー・創エネルギーの導入	順調	環境経営課

重点プロジェクト⑥	
歴史的景観や文化財の保全・活用	
環境推進管理委員会による総合評価	達成

(1) 背景・目的

市は、国分寺崖線や樹林地、農地、お鷹の道・真姿の池湧水群、史跡武蔵国分寺跡、用水路などの地域資源、それにまつわる歴史的景観や文化財を有しており、これらを後世に残していくことが大切です。

地域の自然やそれに関わる地域の暮らしや文化を学ぶことは、郷土愛を育むとともに、自然と共存して暮らす知恵と工夫を生み出すきっかけとなることから、市の歴史・文化をテーマとした環境教育・環境学習を推進します。

(2) 取組内容

- 市内総合文化財調査を実施し、新たな文化財などの状況把握、適切な保全を行います。
- 新田開発以降の人々の暮らしの中から生まれた農のある風景、用水路（跡）など歴史遺産にも光をあてていきます。
- 環境教育や環境学習、まちづくりやまちおこしのために歴史的景観・歴史遺産・文化財の活用を推進します。

(3) 重点プロジェクトを構成する主な施策と取組状況

主な施策			取組		
分野	施策名	評価	取組名	進捗状況	担当課
自然環境	4 公園・緑地の整備	達成	(9) 歴史公園の整備	順調	ふるさと文化財課
			(10) 開発事業に伴う提供公園整備の促進	順調	緑と公園課
			(11) 都市計画・緑地の新規指定	順調	緑と公園課
都市環境	36 歴史遺産及び文化財の調査・保存・活用	達成	(再9) 歴史公園の整備	順調	ふるさと文化財課
			(68) (仮称) 郷土博物館	順調	ふるさと文化財課
			(69) 市内総合文化財調査	おおむね順調	ふるさと文化財課
			(70) 文化財とのふれあい推進	順調	ふるさと文化財課
			(71) 市観光協会との連携	順調	市政戦略室
			(72) 文化財普及事業の推進(広報)	順調	ふるさと文化財課

重点プロジェクト⑦	
資源循環型のまちづくりの推進	
環境推進管理委員会による総合評価	達成

(1) 背景・目的

地球温暖化の原因となる二酸化炭素（CO₂）をはじめとした温室効果ガスの排出抑制、最終処分場の延命化のためには家庭ごみ（もやせるごみ、もやせないごみ）の減量が必要です。

ごみ・資源物量全体及び1人1日あたりのごみ排出量は減少していますが、未だにもやせるごみに資源物が混入されていることから、ごみの分別について、指導、啓発をさらに続けていく必要があります。また、着実なごみ減量に向けた数値目標を設定し、実現を図る必要があります。

さらに、市民生活、事業活動などの各段階において、ごみの発生そのものが少ない社会を目指し、ごみが資源・エネルギーとして再利用できる資源循環型のまちづくりへの転換を市民・事業者等・市が一体となって推進していきます。

また、地球温暖化の原因となる二酸化炭素（CO₂）をはじめとした温室効果ガスの排出抑制のための対策として、資源循環型のまちづくりを推進します。

(2) 取組内容

- ごみをテーマとした環境教育、学習を充実していきます。
- せん定枝や給食残さのたい肥化などにより、資源循環型のまちづくりを進めます。
- 生ごみのたい肥化等によるもやせるごみの大幅な減量に取り組みます。

(3) 重点プロジェクトを構成する主な施策と取組状況

主な施策			取組		
分野	施策名	評価	取組名	進捗状況	担当課
地球環境	42 ごみの減量化・資源化の推進	達成	(83) 生ごみ処理機器の普及促進	順調	ごみ減量推進課
			(84) 給食残さ・家庭の厨芥類及びせん定枝のたい肥化	順調	ごみ減量推進課
			(85) ごみの減量化・資源化の推進	おおむね順調	ごみ減量推進課
			(86) 分別の周知・指導	おおむね順調	環境対策課
				順調	ごみ減量推進課
	43 ごみの減量や分別などの普及啓発	達成	(87) ごみ・リサイクルカレンダーによるごみの減量化・資源化や分別のルール等の啓発	順調	環境対策課
			(88) 説明会やイベントなどでの啓発活動	順調	ごみ減量推進課
				順調	環境対策課
			(89) 広報活動の充実	順調	環境対策課
				順調	ごみ減量推進課
環境教育・環境学習	44 多様な主体による環境教育・環境学習の推進	おおむね達成	(再 35) 全庁的な取組の実施	おおむね順調	環境経営課
			(90) 公民館における「環境教育・環境学習」の推進	順調	公民館課
			(91) 環境に関する啓発活動	順調	図書館課
			(92) 環境学習の実施・支援	停滞ぎみ	環境経営課
			(93) 環境学習・啓発活動体制の推進	おおむね順調	環境対策課
				順調	ごみ減量推進課
			(94) 3R講座の開催	順調	ごみ減量推進課
			(95) 浅川清流環境組合の施設見学の実施	順調	学校指導課

重点プロジェクト⑧	
環境負荷の少ないライフスタイルの促進	
環境推進管理委員会による総合評価	未達成

(1) 背景・目的

地域全体でエネルギーや二酸化炭素（CO₂）を抑制するためには、節電・省エネルギーの推進に
くわえ、住宅・建築物や都市、交通などをエネルギーやCO₂排出の少ないものへと変えていくま
ちづくりが求められています。

東日本大震災を契機に、節電や省エネルギーに対する市民の意識が高まっていることから、こ
うした機運をとらえ、地球温暖化防止に向けた二酸化炭素（CO₂）をはじめとした温室効果ガスの
排出抑制と、エネルギー利用効率のよい環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を促進しま
す。日常的に温室効果ガスの発生やエネルギーの無駄な消費を抑えるとともに、家庭や事業所
でも取り組める方策として、太陽光発電、太陽熱利用システム、コージェネレーション、蓄電装置
などの積極的活用や、省エネルギー型の製品への転換などを進めることも重要になっています。

(2) 取組内容

- これまでの実績を基に、引き続き環境家計簿の普及拡大を図り、家庭における省エネルギー・
省資源の取組を促進します。
- 体験型学習や具体的な情報提供、住宅用太陽光発電機器などに関する助成制度などを推進し
ます。

(3) 重点プロジェクトを構成する主な施策と取組状況

主な施策			取組		
分野	施策名	評価	取組名	進捗状況	担当課
地球環境	39 省エネルギー・省資源行動の促進	達成	(再 37) 環境保全に関するPR	順調	環境経営課
			(79) 環境家計簿の普及啓発	おおむね順調	環境経営課
	40 再生可能エネルギーの導入・創エネルギーの推進	達成	(再 76) 公共施設における再生可能エネルギー・創エネルギーの導入	順調	環境経営課
			(80) 住宅用太陽光発電機器等設置助成	順調	環境経営課
環境教育・環境学習	再 44 多様な主体による環境教育・環境学習の推進	おおむね達成	(再 35) 全庁的な取組の実施	おおむね順調	環境経営課
			(再 90) 公民館における「環境教育・環境学習」の推進	順調	公民館課
			(再 91) 環境に関する啓発活動	順調	図書館課
			(再 92) 環境学習の実施・支援	停滞ぎみ	環境経営課
			(再 93) 環境学習・啓発活動体制の推進	おおむね順調	環境対策課
				順調	ごみ減量推進課
			(再 94) 3R講座の開催	順調	ごみ減量推進課
			(再 95) 浅川清流環境組合の施設見学の実施	順調	学校指導課
	46 環境学習に関する情報提供、学習教材づくり	未達成	(再 37) 環境保全に関するPR	順調	環境経営課
			(再 92) 環境学習の実施・支援	停滞ぎみ	環境経営課

重点プロジェクト⑨	
環境面における参加と協働による地域の活性化の推進	
環境推進管理委員会による総合評価	未達成

(1) 背景・目的

環境負荷の少ない持続可能な社会を次世代の子どもたちへ継承していくためには、一人ひとり、各事業所が環境に配慮した行動を実践し、広く展開していくことが重要です。

また、公民館や自治会、町内会などで地域のお祭りや懇談会、クリーン運動、地域の学校づくりなどの中に環境教育・学習を取り入れることで、自然なかたちで省エネルギーや省資源、ごみ減量などの意識が高まり、地域社会のつながりやふれあいを深めながら環境面の活動の推進も図ることができます。

このように、地域での環境面における参加と協働の機会を通じ、地域への関心・理解を深め、課題解決の実践・体験を基本とする環境教育・環境学習を展開していきます。

(2) 取組内容

- 環境への取組に関して、地域ぐるみの役割分担や協力・連携の可能性の検討などを行い、地域コミュニティの再生・活性化を図ります。
- 子どもたちの国分寺の環境についての認識を高めるために、学校教育の現場と地域を結んだ取組を進めます。

(3) 重点プロジェクトを構成する主な施策と取組状況

主な施策			取組		
分野	施策名	評価	取組名	進捗状況	担当課
環境教育・ 環境学習	48 環境教育・環境学習の機会の促進	未達成	(再 92) 環境学習の実施・支援	停滞済み	環境経営課
			(101) 環境ひろばの開催	順調	環境経営課
	49 地域リーダーの育成、ネットワーク化の支援	未達成	(再 92) 環境学習の実施・支援	停滞済み	環境経営課
			(102) 青少年地域リーダーの育成	順調	社会教育課
			(103) わんぱく学校	順調	社会教育課